

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ピンキラー2	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボール
RG 2.430	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離
4 1/2 インチ

研磨剤

比較対照ボール：ピンキラー

フレアーの幅 インチ

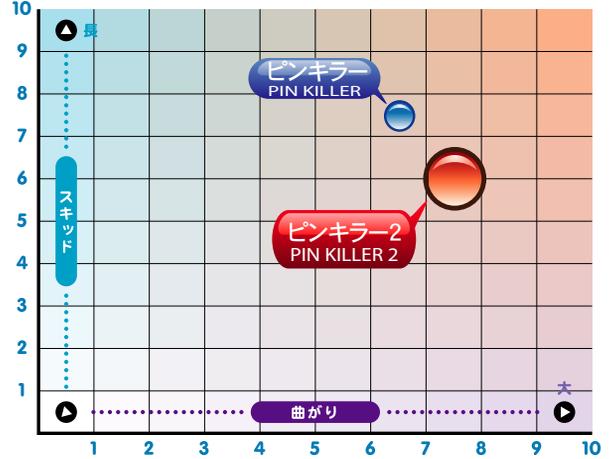
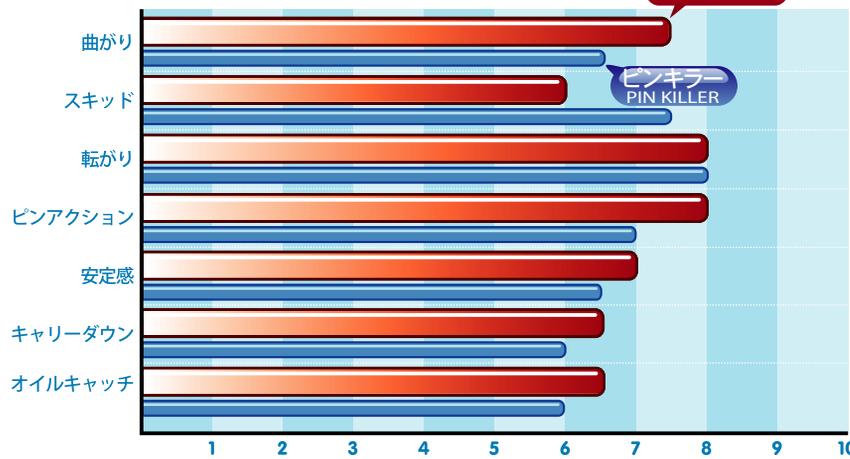
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離
4 1/2 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レングス
Light Oil Light to Medium Medium Oil Medium to Heavy Heavy Oil	Smooth Smooth to Arc Arc Arc to Sharp Sharp Angle	Early Roll Early to Med Med-Lane Med to Late Late Roll

ボールの評価

特記事項

ピンキラーはオイルに左右されながらもドライゾーンでのバックエンドリアクションがユーザーを魅了し、今も尚その性能復活を望む方も多い事でしょう。今回のピンキラー2は前作ピンキラーがミディアムライトのコンディション対応であったカバーストックをバージョンUP。バックエンドの激しさは残しながら前作よりもオイルの多いコンディションでも使用出来るよう再設定を行いました。

ピンキラーとの比較投球では曲がり形状は良く似ていますが、曲がり幅がかなり大きくなっているのを感じました。手前から良く転がりスキッドするのですが、オイル上でドライゾーンでのキャッチ力が総合的に向上し、さらに角が出るリアクションがでていきますので、初代ピンキラーよりも大きく幅を取らないとポケットまでの入射角度が取れなくなっています。初代ピンキラーは使用できるコンディションが限られ、オイルの状態パフォーマンスの出方が変わるような感じがしましたが、今回のピンキラー2はオイルには左右されにくいのですが、オイルゾーンを抜けてからのバックエンドの激しさに暴れる感じを抱くと思います。その暴れる感じが初代のピンキラーの「売り」であり、即日完売に至った経緯があるのであれば、ピンキラー2も激しさを「売り」にリリース致します。大人気で即日完売に至ったピンキラーが激しさを増し、生まれ変わりました。バックエンドのジャジャ馬ぶりの激しいリアクションをその手でお試ください。

初代ピンキラーを上回る、あえて暴れるリアクションを求めて設定された性能です。走る!切れる!が高いレベルで仕上がっています。